

自律的に探究する態度の育成と自己調整力

～大阪狭山市立東小学校様の取り組み～

校内研究

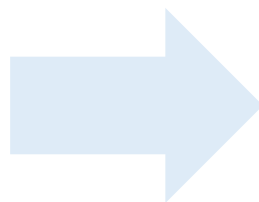
研究テーマ「自分にあった方法で学ぼう～問い続け，共に学ぶ～」

⇒自律的に探究する態度の育成

（学習内容だけでなく）学習方法を意識させる

学び方を教える

- 学習形態
個人・ペア・グループ
- 学習方法
インターネット・図書
インタビューなど



どの学び方が有効か，
子どもに選択させる。
（自己調整力）

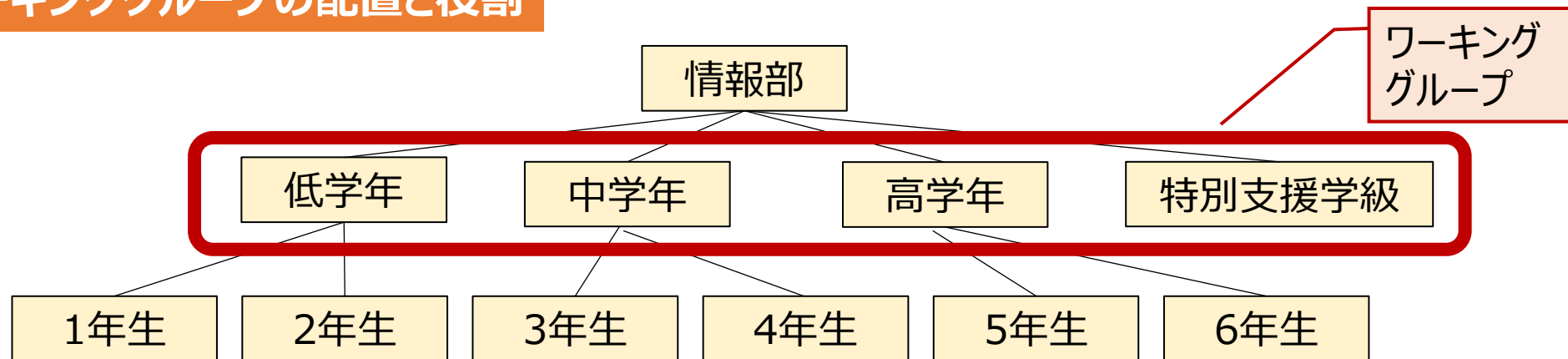


校内研究のねらい（つきたい力）

- 主体的な学び（**自律的に探究する態度**）
- 自分に合った方法で学ぶ（**自己調整力**）→タブレット・図書・インタビューなど

自律的に探究する態度の育成

ワーキンググループの配置と役割



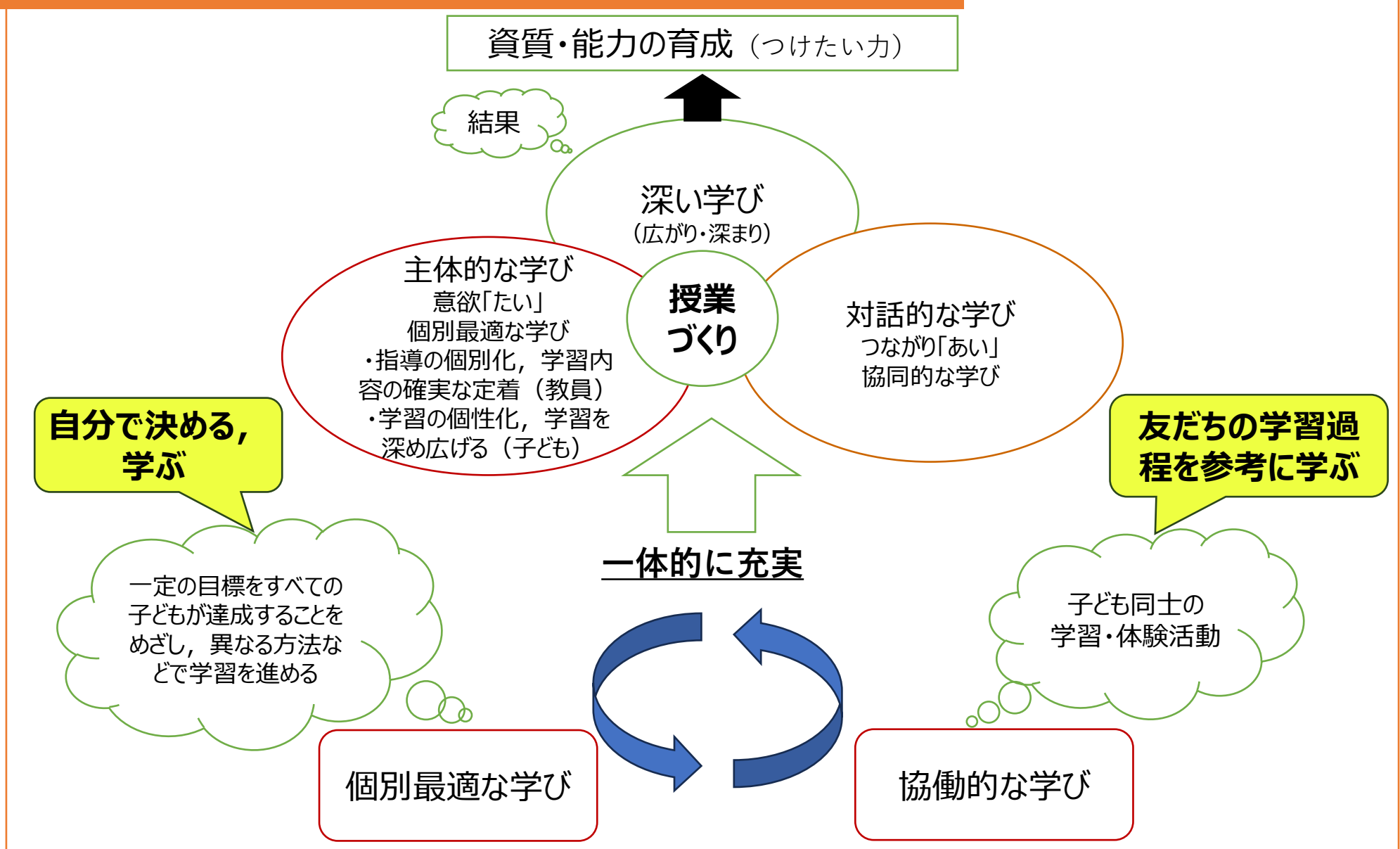
学期に1回、校内研修（1時間程度）を実施し、研究テーマの認識を合わせる。

月に1回程度、ワーキンググループ会議（1時間程度）を実施。各学年の取組みを情報共有し、まとめる。

ワーキンググループの教員が各学年の教員へ取組みを広める。



「令和の日本型学習教育」と東小学校校内研究のイメージ図



おすすめICT活用事例のご紹介 ～学校全体・教員の取組み～



学び方の習得とスキルの活用のイメージ

1年の始め

6年の終わり

学び方スキルの習得

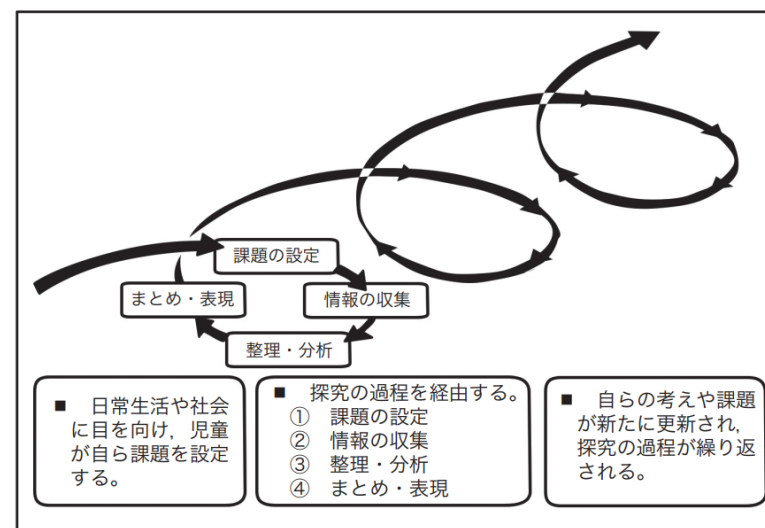
スキルの活用・発揮
(アウトプット)

ICT（タブレット）は文房具と同じ。子どもが主体的に学ぶにはタブレットが有効。

目の前にいる子どもによって、学び方のスキル習得状況は違う。

指導要領のサイクルを基に、発達段階や場面、子どもたちの実態に合わせて授業を組み立て、徐々にスキルの活用・発揮（アウトプット）の割合を増やしていく。

探究的な学習における児童の学習の姿



出典：【総合的な学習の時間編】小学校学習指導要領（平成29年告示）解説（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_013_1.pdf

おすすめICT活用事例のご紹介 ～学校全体・教員の取り組み～



校長先生からのお話（要約）

文科省の掲げている「COCOLOプラン」においても、学校で過ごす時間の中で最も長い「授業」，「授業づくり」が大切にされている。

子どもたちが自分で学んでいるという感覚，自分で学んでいっている自覚を持たせたい。

そのためには，めあて，ふりかえりが重要になる。

一人ひとりの学習進度や興味・関心などに応じた指導など，子どもたちの特性に合った柔軟な学びを実現する。

生徒指導，特別支援教育の土台があってこそそのICT活用。

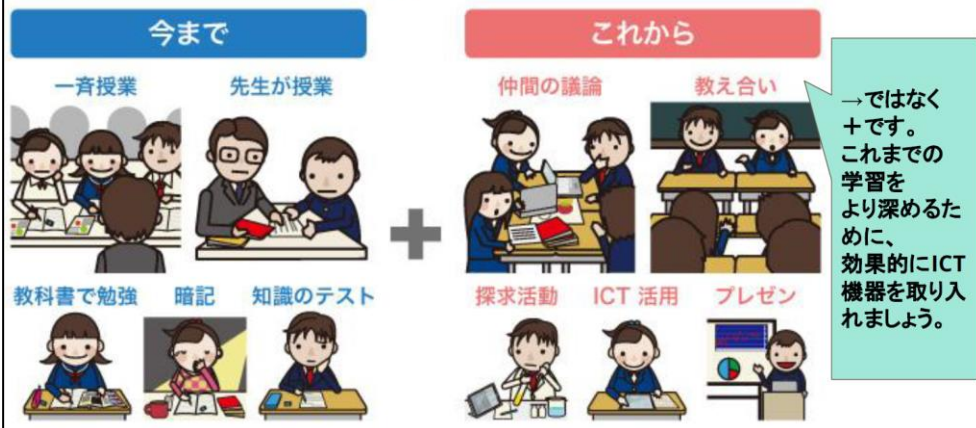
学校で過ごす時間の中で 最も長い「授業」を改善

02

子供たちそれぞれの良さや持ち味を生かし、みんなが活躍できる機会や出番がある授業づくりが行われるよう、不登校特例校の取組等も参考にしつつ、1人1台端末を活用した子供たち一人一人の学習進度や興味・関心などに応じた指導など、一方通行型でない、子供たちの特性に合った柔軟な学びを実現し、それぞれが前向きに学べるようにします。

特に校内教育支援センター（スペシャルサポートルーム等）では、一人一人の特性や能力、興味や関心に応じた柔軟な学習ができるようにします。

授業づくり ～今まで これから～



出典：COCOLOプラン（文部科学省）

https://www.mext.go.jp/content/20230418-mxt_jidou02-000028870-cc.pdf

出典：ベネッセ総合研究所

https://benesse.jp/berd/special/manabi/manabi_2_2.html

おすすめICT活用事例のご紹介 ～2年生～

区分	学年	教科	単元	活用ソフト
小	2	国語	ないた赤おに（付録 読み物教材）	オクリンク・オクリンクプラス
授業内容	昔話に親しみ、おもしろいと思ったところを紹介し合おう			<学習計画カード>
	準備：オクリンクやオクリンクプラスで「学習計画カード」を作成し、子どもたちに送っておく。 授業の流れ： <1時間目> ①3時間のゴールを聞く「ないた赤おにに何か1つ自分がレベルあがったものを伝えよう」。 ②3時間の学習計画を立て、オクリンクのカードに記入する。 ③オクリンクのカードに本時のめあてを記入し、提出する。 ④同じめあての子と3人までのグループになる。 ⑤グループで本時のめあてを達成するための活動を行う。 （例）ノートにまとめたものをオクリンクのカメラで撮影し、カードに貼っている子どももいる。 （例）音声をオクリンクで録音し、カードに貼っている子どももいる。 （例）音読劇をオクリンクで撮影し、カードに貼っている子どももいる。 （例）お話の先を考えている子どももいる。 ⑥オクリンクのカードに本時の振り返りを記入し、提出する。 ⑦全体で本時で学習したことを共有し、交流する。 <2～3時間目> ①オクリンクのカードに本時のめあてを記入する。 ②3人までのグループで本時のめあてを達成するための活動を行う。 ③オクリンクのカードに本時のふりかえりを記入し、提出する。 ④全体で本時で学習したことを共有し交流する。			<div>ないた赤おに 学しゅう計画</div> <div>①場めん分けをする。 ②かんそうをつたえ合う。 ③赤おにと青おにの気持ちを考える。</div> <div>12日（火）</div> <div>①今日のめあて だんらくを書いて、場めんを分ける。</div> <div>②ふりかえり 今日はだんらくを書いて、場めんを分けて、めあてはたっせいできた。</div>
ICT利活用のポイント		学習計画、めあて、ふりかえりを共有し、全体で交流することができる。 本時でまとめたノートの写真、録音した音声、撮影した音読劇なども提出させることで、グループごとの活動内容を見取することができる。		
おすすめポイント		2年生でいきなり学習形態や学習方法を自由にとってもできないため、学習形態は3人までのグループに固定し、学習方法とアウトプットの方法を自分たちで選択させている。年間を通して物語文の読み方やタブレットを活用してきているので、2年生でも無理なく学習方法とアウトプットの方法を自分たちで選択することができている。		

おすすめICT活用事例のご紹介 ～2年生～



自習との違い、自習にならないための工夫・しかけ

- ✓ 3時間の**ゴールを伝える**「ないた赤おにで何か1つ自分がレベルあがったものを伝えよう」。
- ✓ 子どもたちに**学習の見通しを立てさせる**。
- ✓ **毎時間、子どもたちに本時のめあてと振り返りを記入して提出させ、全体で交流し、**次時の取組みの参考にさせる。
- ✓ 3人までのグループにする（人数が多くなるとしない子どもが出てくる）。

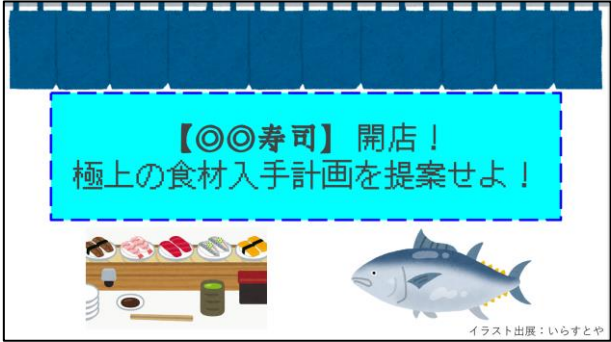
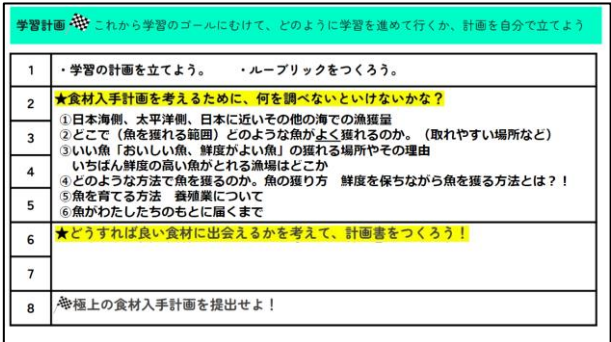
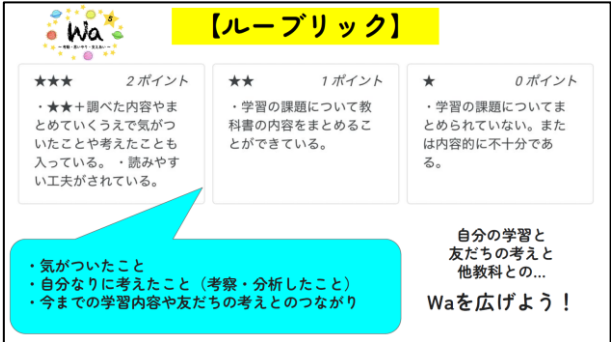
教員の授業への関わり

- ✓ グループ活動中は、進んでいないグループや困っているグループへの声かけを行う。
- ✓ **年間を通して、物語文を読むときは「場面分けをする」「気持ちを考える」などの指導をしたり、タブレットを活用したりしてきている**ので、子どもたちは学習方法や学習を理解している。

見取り

- ✓ 記入した本時のめあてと振り返りとともに、**本時でまとめたノートの写真、録音した音声、撮影した音読劇なども提出させ、グループごとの活動内容を見取る。**

おすすめICT活用事例のご紹介 ～5年生～

区分	学年	教科	単元	活用ソフト
小	5	社会	我が国の水産業における食料生産	Classroom・プレゼンテーションソフト
授業内容	〇〇寿司開店！極上の食材入手計画を提案せよ！			＜ワークシート＞ 
	準備：Classroomでワークシートをコピー配付する。 授業の流れ： ＜1時間目＞ ①ミッションを聞く「〇〇寿司開店！極上の食材入手計画を提案せよ！」。 ②ゴールに達成するために何をしないといけないかを全体で共有する。 ③学習計画を立てる「ループリックをつくろう」。 ＜2～7時間目＞ ①前時の振り返りから本時にすることを確認する。 ②調べる。まとめる。 ・学習形態（一人で学ぶ・グループで学ぶ・教員と学ぶ）は自分で選択する。途中で変えてもよい。 ・学習方法（教科書で調べる・教科書のQRコードの動画で調べる・図書室の本で調べる・インターネットで調べる）も自分で選択する。 ・まとめ方（プレゼンテーションソフトでまとめる・ノートにまとめる）も自分で選択する。 まとめたものは他者参照できるよう、閲覧可能にしておく。 ③調べたことを共有する。 ④次回の見通しを立てる。 ＜8時間目＞ ①極上の食材入手計画を提出する。 ・成果物は個人で提出する。ノートでまとめた子どもはノートで提出する。			
	ICT利活用のポイント			
	おすすめポイント			学習計画やループリックなどはタブレットで配付する。調べ方やまとめ方は、紙を使ってもタブレットを使っても良い。学習形態や学習方法について、どの学び方が有効か、子どもに選択させているのがポイント。 教員の授業への関わり方がポイント。ただ単に調べて発表させるのではなく、教員が課題設定をしっかり行い、授業の最初と最後に抑えるべきところは全体で抑え、最終的には子どもたち一人ひとりの学びを見取り、評価している。

おすすめICT活用事例のご紹介 ～5年生～



自習との違い，自習にならないための工夫・しかけ

- ✓ **課題設定をしっかり行い**，ゴールにたどり着くまでを逆算する。
- ✓ **学習計画の見通しを全体で共有し**，ポイントを抑える。
- ✓ 時間の終わりに数チームに**報告してもらい**，**抑えるべきことは抑える**。
活動自体に慣れてくれば，報告を2時間に1回にし，活動時間を長く取る。

教員の授業への関わり

- ✓ **学習計画の見通しや途中の経過報告を全体で共有させ**，ポイントを抑える。
- ✓ 同じことを調べているグループがあれば，「同じことを調べているから聞きに行ってみれば」など交流を促す。
- ✓ 教員と学びたい子どもに学び方を教える。

見取り

- ✓ 学び方（一人で学ぶ・グループで学ぶ・教員と学ぶ）は自由だが，成果物は個人で提出する。⇒ **子どもたち一人ひとりの学びを見取り**，**評価する**。

おすすめICT活用事例のご紹介 ～5年生～



これまでの取り組み

- ✓ 4年生でも国語で子どもに学習形態・学習方法を選択させる授業を行っていた。
- ✓ 「暖かい土地」「低い土地」について、気候や土地柄について調べ、プレゼン資料を作成する授業を同じ学習形態・学習方法で行った。
- ✓ 「米づくり」の単元では、地域でお米づくりをさせてもらったお礼に、米づくりについて調べたことを伝える授業を同じ学習形態・学習方法で行った。
- ✓ 昨年度は国語限定であったが、今年度は社会や総合で同様の授業を実施することが多い。

今後の取り組み予定

- ✓ 今後も社会や総合を中心に、**言語活動の場面で同様の学習形態・学習方法**で授業を実施していく予定

イラスト出典：いらすとや <https://www.irasutoya.com/>

※文言は事例をご提供くださった学校様のご希望に合わせています。

Copyright © Benesse Corporation. All rights reserved